

# 難関IT試験に合格

## 愛産大三河高 木下さん 夢へ一步



応用情報技術者試験に合格した木下さん。岡崎市岡町で。

愛産大三河高校(岡崎市岡町)の情報処理科三年、木下徹哉さん(心)が、IT知識などが問われる難関の国家試験「応用情報技術者試験」に合格した。

試験はコンピュータのシステムや情報セキュリティ、プログラミングの知識や技能などが求められる。昨年十月にあった試験は午前に八十問をこなす。午後は十一の大問から五問を選んで解答する。午前、午後それぞれ百点満点でともに正答率六割以上で合格。木下さんは午前が71・25点、午後が66点だった。

今回の試験は二万九千二百二十四人が受験し、合格者は六千八百七人(23・5%)だった。高校生は百十八人が挑み十四人が合格した。

ゲームが好きという木下さんは中学生の時からプログラマーになる夢を抱いていた。高校二年の時に応用の前段階の「基本情報技術者試験」に合格。今回に向けテキストや過去問題を解き、試験勉強を続けてきた。記述式問題の対策に苦労したが「試験では勉強の成果を出すことができた」と振り返る。

情報処理科で木下さんのクラスを担当する林真吾教諭(心)は「学校では教えることが難しい内容を自主的に取り組んでくれた」とたたえた。

卒業後は専門学校でゲーム制作などを学ぶ予定。「課題が多いと聞いているが、プログラマーになるために頑張りたい」と意気込んだ。(土屋あいら)